

# 人文学報

No.514-3

社会福祉学 34

論 文

社会福祉と個人情報

..... 岡部 卓

「障害当事者宣言」と「障害受容」

..... 杉野昭博

研究ノート

公的貸付制度の現状と課題

..... 岡部 卓

資 料

軽井沢バス事故の記録

..... 社会福祉学教室

首都大学東京人文科学研究科

2018.3

# 人文学報

No.514-3

社会福祉学 34

## 目 次

### 論 文

社会福祉と個人情報 .....	岡部 卓	1
「障害当事者宣言」と「障害受容」 .....	杉野 昭博	15

### 研究ノート

公的貸付制度の現状と課題 .....	岡部 卓	35
-----------------------	------	----

### 資 料

軽井沢バス事故の記録 .....	社会福祉学教室	71
---------------------	---------	----

### 社会福祉学分野1年間の活動

2017年度 研究室の活動.....	87
2017年度 学生・院生の研究活動.....	89
2017年度 教員の研究活動.....	93

## 研究室の活動

---

< 2017 年 >

- 4月6日 新入生学部・大学院オリエンテーション、歓迎会
- 4月7日 入学式
- 4月27日 分野研究会  
・岡部卓「社会福祉学とは何か－自己の研究史に立脚して－」
- 5月11日 修士論文指導会  
報告  
・篠崎ひかる「高齢犯罪者の地域定着における実態と課題－地域定着支援センター職員へのインタビューから－」  
・岸本尚大「民生委員の活動における現状と課題の一考察」  
・焦安然「中国の高齢者施設入所者の生活と主観的幸福感」  
・谷川文菜「4年制大学における MIS 調査」
- 5月23日 卒論調査ガイダンス①
- 6月29日 博士課程院生報告会  
・坏洋一「現代シチズンシップ論の諸相」  
・高井由起子「ドメスティック・バイオレンス加害者プログラムの現状と課題－インタビュー調査からの考察－」  
・松江暁子「韓国の公的扶助制度における労働と福祉の連携－条件つき給付に着目して－」  
・櫻井真一「生活困窮者自立支援法下における自立支援センターの位置づけに関する一考察」
- 6月30日 春期卒論計画書提出期限
- 7月13日 博士論文中間報告会  
・遠藤康裕「生活保護における包摂の実態－ホームレスを通して－」  
・三宅雄大「生活保護利用世帯における大学等『就学機会』に関する研究」
- 7月16日 大学説明会
- 7月20日 卒業論文調査ガイダンス②
- 7月27日 分野研究会  
・金文吉・安周永「韓国若者の実態と政策現況」
- 8月19日 大学説明会
- 9月25・26日 大学院入試
- 10月12日 修士論文指導会  
・谷川文菜「大学生の最低生活費－MIS 調査を用いて－」  
・篠崎ひかる「高齢出所者に対する支援の実態と課題－地域定着支援センター職員へのインタビューから－」  
・岸本尚大「民生委員の活動における現状と課題に関する一考察－高齢者に対する個別訪問活動の負担感を中心に－」
- 10月21・22日 日本社会福祉学会

研究室の活動

- 10月26日 卒論中間報告会
- 11月9日 分野研究会  
・堀江孝司「保守主義とジェンダー政策—安倍政権を中心に—」
- 11月18日 学術講演会・同窓会  
・「子ども食堂と学習支援から考える子どもの貧困」  
発題者：栗原知絵子・六田志穂・阿部彩 コーディネーター：室田信一
- 12月1日 卒業論文ガイダンス
- 12月14日 院生報告会・博士論文中間報告会  
・中嶋英理「福祉労働と優生思想—相模原市障害者殺傷事件を手がかりに—」  
・松村智史「生活困窮世帯の子どもと学習支援によるケア—X市学習支援教室参加者のインタビュー調査から—」  
・松江暁子「公的扶助における能力活用の条件付けに関する研究—韓国の国民基礎生活保障制度に着目して—」  
・坏洋一「R.M. ティトマス贈与関係論の現代的意義：福祉市民論の構想にむけて」
- < 2018年 >
- 1月10日 修士論文提出
- 1月11日 卒業論文提出
- 2月7日 博士論文公聴会  
・根岸弓「日本の被虐待児の福祉に資する児童虐待対応法制度の構想—評価指標の構築および制度構想に対する理論的・経験的検討—」  
・三宅雄大「生活保護利用世帯における大学等『就学機会』に関する研究」
- 修士論文口頭試問  
・谷川文菜「学生の最低生活費—MIS調査を用いて—」  
・篠崎ひかる「地域生活定着促進事業における高齢出所者支援の実態と課題—地域定着支援センター職員へのインタビューから—」  
・岸本尚大「民生委員による高齢者への訪問活動に関する現状と課題—バーンアウト関連要因の分析を中心に—」
- 2月8日 卒業論文報告会
- 2月15・16日 大学院入試
- 3月22日 卒業式

## 学生・院生の研究活動

---

### 【卒業論文】(学修番号順)

- 田畑 理子：成年後見制度における法人後見の現状と展望  
佐藤 航：非行少年への支援のあり方を考える  
中村 理香：「ヲタ卒」とアイデンティティの確立  
島崎 風沙：性産業従事者への支援の現状と課題  
澁谷香菜子：保育士の待遇、専門性を考える  
道上 仙理：若者無業者問題を教育の視点から読み解く  
村本 拓夢：災害時における災害ボランティアに求められる心のケアの在り方  
酒谷美沙季：高齢者の QOL の国際比較  
松崎 祥吾：介護予防と玩具  
篠ヶ瀬文子：幸福指標の検討と政策的活用  
松島 凌平：待機児童の現状と各自治体の取り組み  
遠藤 美葵：若者の児童虐待意識について  
横井 奈央：親が元気なうちに親元から自立するための支援のあり方  
小森 香奈：在宅療養支援診療所における医療ソーシャルワークの意義と課題  
西牧みずほ：トランスジェンダーの就労  
今野 優紀：東京都中央区におけるマンション開発と保育ニーズの現状  
羽田 和樹：コンビニが支える地域高齢者福祉  
佐々木 萌：日本の失業対策  
勝俣 千尋：「中絶の権利」から考えるフェミニズムの理論と前進  
梶田 紗貴：防犯灯の社会学  
西田 嵩：日本における貧困に対する認識

## 【修士論文】

谷川 文菜：「学生の最低生活費－MIS調査を用いて－」

篠崎ひかる：「地域生活定着促進事業における高齢出所者支援の実態と課題－地域定着支援センター職員へのインタビューから－」

岸本 尚大：「民生委員による高齢者への訪問活動に関する現状と課題－バーンアウト関連要因の分析を中心に－」

## 【博士論文】

根岸 弓：「日本の被虐待児の福祉に資する児童虐待対応法制度の構想  
－評価指標の構築および制度構想に対する理論的・経験的検討－」

三宅 雄大：「生活保護利用世帯における大学等『就学機会』に関する研究」

## 2017年度 教員の活動

### 1. 論文・書籍等

- ・阿部彩「子どもの貧困問題への社会科学的アプローチ」『学術の動向』2017年10月号
- ・阿部彩(2018年)「若年出産、婚前妊娠の母親と子ども」労働政策研究・研修機構編『非典型化する家族と女性のキャリア』JILPT第3期プロジェクト研究シリーズ9、労働政策研究・研修機構
- ・阿部彩「子どもの貧困指標の開発」社会政策学会第135回(2017年度秋季)大会報告論文.
- ・Murayama, N., Ishida, H., Yamamoto, T., Hazano, S., Nakanishi, A., Arai, Y., Abe, A. Household income is associated with food and nutrient intake in Japanese schoolchildren, especially on days without school lunch. *Public Health Nutrition*, 20(16), doi:10.1017/S1368980017001100
  
- ・安藤藍「里親制度の規定する『家族』・『家庭』像の変遷」『季刊家計経済研究』113
- ・安藤藍「第8章 社会的養護－親が育てられない子どもを社会で育てる」由井秀樹編『少子化社会と妊娠・出産・子育て－テーマでひらく学びの扉』2017年4月
- ・安藤藍「コラム9 社会的養護と自立支援」由井秀樹編『少子化社会と妊娠・出産・子育て－テーマでひらく学びの扉』2017年4月
  
- ・岡部卓「『自立支援』パワーアップ講座「第11回(最終回)「自立支援プログラム」の今後について」『生活と福祉』2017年4月号 全国社会福祉協議会出版部
- ・岡部卓「はじめに」岡部卓・長友祐三・池谷秀登共編『生活保護ソーシャルワークはいま』ミネルヴァ書房2017年7月
- ・岡部卓「第1章 脱・貧困に向けたソーシャルワーク」岡部卓・長友祐三・池谷秀登共編『生活保護ソーシャルワークはいま』ミネルヴァ書房2017年7月
- ・岡部卓「関係性の貧困」『ネットワーク』350号 東京ボランティア・市民センター 2017年9月
- ・岡部卓「第1章 現代社会と公的扶助」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部2018年3月
- ・岡部卓「第2章 生活保護制度の概要」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部2018年3月
- ・岡部卓「第4章第1節 低所得者施策の概要」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部 2018年3月
- ・岡部卓「第4章第2節 生活困窮者自立支援制度の概要」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部 2018年3月
- ・岡部卓「第4章第3節 生活福祉資金貸付制度の概要」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部 2018年3月
- ・岡部卓「第5章 ホームレス状態にある人々の支援」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部 2018年3月
- ・岡部卓「資料編(監修) 生活保護法関係資料」『社会福祉学習双書2018 公的扶助論』全国社会福祉協議会出版部 2018年3月
- ・岡部卓 「5章 生活保護」『ナニシンググラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障』メデイ

カ出版 2018年3月

- ・岡部卓「IV社会福祉・教育学」『言語聴覚士テキスト第3版』医歯薬出版株式会社 2018年3月
- ・岡部卓「第6章 公的扶助」『系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③』福田素生他編著 医学書院 2018年3月
- ・岡部卓「社会福祉と個人情報」『人文学報』社会福祉学第33号 2018年3月
- ・岡部卓 研究ノート「公的貸付制度の現状と課題」『人文学報』社会福祉学第33号 2018年3月
  
- ・長沼葉月「子どもに何をどのように説明するか？（特集みんなが元気になれる家族支援 II 第5章 子ども・兄弟姉妹への支援）」『精神科臨床サービス』第17巻2号、2017年5月
- ・長沼葉月「解決志向アプローチを活用した相談・面接の進め方」『高齢者安心安全ケア実践と記録』第14巻6号、2017年7月
- ・長沼葉月「ソーシャルワークの多様な「視点」を考える——立脚点としての「私」と注視点としての「相手」との間を行き来すること」、後藤広史・木村淳也・荒井浩道・長沼葉月・本多勇・木下大生『ソーシャルワーカーのソダチ』、生活書院、2017年7月
- ・長沼葉月「家族のためのソーシャルワーク」『更生保護』第68巻8号、2017年8月
- ・長沼葉月「ケースワークとオープンダイアログ」『精神科治療学』第33巻3号、2018年3月
  
- ・堀江孝司「安倍内閣をめぐる世論の動向と野党」『労働調査』第566号、2017年8月
  
- ・室田信一「社会福祉におけるソーシャルアクションの位置付け」『社会福祉研究』129号、2017年7月
- ・室田信一「地域包括ケアと住民活動」『ソーシャルワーク研究』vol.43 No.2、2017年7月
- ・室田信一「地域共生社会とコミュニティ・オーガナイズング」『にじ』No.660（2017年秋号）、2017年9月
- ・室田信一「子ども食堂の現状とこれからの可能性」『月刊福祉』第100巻第11号、2017年11月
- ・室田信一「リーダーシップのアクションリサーチ～コミュニティ・オーガナイズングの実践を参考に～」草郷孝好編著『市民自治の育て方』関西大学出版部、2018年3月
  
- ・和気純子「地域包括ケアシステムから地域共生社会へ；地域づくりの方法と課題」『老年社会科学』日本老年社会科学会 2017年1月

## 2. 調査報告・書評・その他学術成果物

- ・阿部彩 東京都福祉保健局・首都大学東京子ども・若者貧困研究センター「子供の生活実態調査 調査報告書」
- ・安藤藍（分担）（代表：伊藤嘉余子）「調査研究課題14 里親家庭における養育実態と支援ニーズに関する調査研究事業」報告書（2018年3月）
- ・岡部卓・小林理・西村貴之・鈴木忠義・西村貴直・松本一郎『平成28年度 生活保護受給世帯の学習／進学支援に関する研究－フォローアップ調査を通じて－調査報告書』（研究代表者 岡部卓）

平成 29 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) 2018 年 3 月

- ・岡部卓・垣田裕介・山田壮志郎他『一時生活支援事業における包括的支援と事業効果に関する調査研究』報告書 (委員長 岡部卓)、三菱総研 2018 年 3 月
- ・岡部卓「厚生関係施設 50 年史:特別区における生活保護施設・宿泊所・路上対策事業のあゆみ」(仮題) (委員長 岡部卓) 特別区人事・厚生事務組合 2018 年 3 月
- ・岡部卓「社会福祉の存在基盤となる研究と実践」『社会福祉研究』通巻 130 号 (創刊 50 周年記念号) 鉄道弘済会 2017 年 10 月
- ・岡部卓「生活困窮者自立支援事業の取組みと課題」『権利擁護・虐待防止 2018』全国社会福祉協議会政策企画部 2018 年 2 月
- ・岡部卓「貧困」他 15 項目『社会福祉学双書 2016 学びを深めるキーワード集』全国社会福祉協議会 2018 年 3 月
  
- ・杉野昭博「ほんだな 栗田季佳・星加良司・岡原正幸著『対立を乗り越える心の実践』(大学出版部協会)」『月刊 福祉』100 巻 6 号 2017 年 6 月
- ・杉野昭博「書評 森田昭二著『盲人福祉の歴史:近代日本の先覚者たちの思想と源流』(明石書店)」『社会福祉学』58 巻 3 号、2017 年 12 月
  
- ・長沼葉月「対人援助職のための強み探しワークショップ 多機関連携で強み探しが重要なワケとは」『Seeding Hope 活動報告書』、2018 年 3 月
- ・植村太郎・長沼葉月・高木俊介「リフレクティング」『Seeding Hope 活動報告書』、2018 年 3 月
  
- ・堀江孝司「福祉国家と政治をめぐる [2] 格差とポピュリズム」『生活経済政策』第 246 号、2017 年 7 月
- ・堀江孝司「福祉国家と政治をめぐる [3] 女性議員が増えると福祉国家は変わるか」『生活経済政策』第 250 号、2017 年 11 月
- ・Takashi Horie, "Review: Joel Sawat Selway, *Coalitions of the Well-being: How Electoral Rules and Ethnic Politics Shape Health Policy in Developing Countries*, Cambridge University Press, 2015," *Japanese Journal of Political Science*, 18(3), September, 2017.
- ・堀江孝司「「活躍」から取り残される人に光を 女性政策を語らなくなった安倍政権」『西日本新聞』2017 年 11 月 18 日付
- ・堀江孝司「福祉国家と政治をめぐる [4] 福祉国家はナショナルか」『生活経済政策』第 254 号、2018 年 3 月
  
- ・室田信一「福祉教育とボランティアーボランティアと私」『ボランティア情報』No.479、2017 年 4 月 1 日
- ・室田信一「福祉教育とボランティアー意識化」『ボランティア情報』No.480、2017 年 5 月 1 日
- ・室田信一「福祉教育とボランティアー福祉教育の見られ方」『ボランティア情報』No.481、2017 年 6 月 1 日
- ・室田信一「福祉教育とボランティアーボランティアの見られ方」『ボランティア情報』No.482、2017 年 7 月 1 日

- ・室田信一「福祉教育とボランティア－福祉教育とボランティアの関係」『ボランティア情報』No.483、2017年8月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－社会的排除と包摂（1）」『ボランティア情報』No.484、2017年9月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－社会的排除と包摂（2）」『ボランティア情報』No.485、2017年10月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－コミュニティ・オーガナイズング（1）」『ボランティア情報』No.486、2017年11月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－コミュニティ・オーガナイズング（2）」『ボランティア情報』No.487、2017年12月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－サービスラーニング（1）」『ボランティア情報』No.488、2018年1月1日
- ・室田信一「【論説】つながりある社会 再び」『神奈川新聞』2018年1月11日付
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－サービスラーニング（2）」『ボランティア情報』No.489、2018年2月1日
- ・室田信一「福祉教育とボランティア－ボランティアという希望」『ボランティア情報』No.490、2018年3月1日
- ・室田信一「高良麻子著『日本におけるソーシャルアクションの実践モデル－「制度からの排除」への対処』」『日本の地域福祉』第31巻、2018年3月
- ・室田信一「子供・若者の社会参加を進めていくためには」『平成29年度 子供・若者育成支援のための地域連携推進事業報告書（中央研修大会・青年リーダー研修会）』内閣府政策統括官（共生社会政策担当）、2018年3月
  
- ・矢嶋里絵・鈴木静「社会保障裁判年表」井上英夫・藤原精吾・鈴木勉・井口克郎編『社会保障レビュー』いのちの砦・社会保障裁判』高菅出版、2017年9月
  
- ・和気純子「ソーシャルワークのグローバル定義の日本における展開－グローカライズするソーシャルワークの再発見と構築」日本社会福祉学会学会ニュース No.75、2017年6月

### 3. 学会発表

- ・Abe, Aya “Construction of Child Material Deprivation Index for Japan,” East Asian Social Policy Network 国際会議（名古屋大学）2017年8月2-3日
- ・Abe, Aya “Developing Child Deprivation Index for Japan taking into account of adaptive preferences,” The 24<sup>th</sup> Conference of Foundation for International Research on Social Security (FISS 2017), 2017年6月5-7日, Sigtuna, Sweden.
- ・阿部彩「若者の貧困について」日本学術会議公開シンポジウム『若者支援政策の拡充に向けて－提言をふまえた議論－』東京大学山上会館、2017年8月19日
- ・阿部彩「子どもの剥奪指標の開発」社会政策学会 第135回（2017年度秋季）大会、2017年10月28日 愛知学院大学（名城公園キャンパス）

- ・阿部彩「貧困と暴力の連鎖」日本社会福祉学会 第65回秋季大会シンポジウム「社会の暴力性を問う－「包摂型社会」への提言－」、首都大学東京、2017年10月21日
- ・阿部彩「子どもの貧困データベースの可能性：研究者と行政の協働は可能か」第76回公衆衛生学会「シンポジウム18子どもの貧困と健康：行政と研究者のコラボはどうすればできるか?」、かごしま県民交流センター、2017年11月1日
- ・阿部彩「ひとり親世帯に育つこと：東京都調査から」第10回貧困研究会、2017年12月9日、大谷大学
  
- ・仲野由佳理・田中奈緒子・安藤藍「少年院における社会復帰支援の取り組みと課題－X女子少年院におけるインタビュー調査から－」日本社会福祉学会関東部会、2018年3月4日、明治学院大学
  
- ・岡部卓 日本社会福祉学会 第65回秋季大会シンポジウム「社会の暴力性を問う－「包摂型社会」への提言－」(コーディネーター)、首都大学東京、2017年10月
- ・岡部卓 日本社会福祉学会「巻頭言日本社会福祉学会第65回大会秋季大会の開催にあたって」学会ニュースNo.76、2017年10月
- ・岡部卓 日本社会福祉学会「日本社会福祉学会第65回秋季大会報告(第65回秋季大会を終えて)」学会ニュースNo.77、2018年2月
- ・岡部卓 日本社会福祉学会関東地域部会研究大会「オープニング・ワークショップ ⑦政策研究」アドバイザー、2018年3月
  
- ・杉野昭博「障害学の理～創る、操る、奏でる」京都大学バリアフリーシンポジウム2017－創って、操って、奏でる「理のバリアフリー」、2017年9月9日、京都大学
  
- ・白木孝二・長沼葉月「ワークショップ Anticipation/Future Dialogues アンティシペーション・ダイアログ: Remembering the future 未来を思い出す、ネットワーク・ミーティング」日本ブリーフサイコセラピー学会第27回松山大会、2017年7月28日、愛媛大学
- ・長沼葉月「Dialogical Practice と私 子どもとして/支援者として」日本家族研究・家族療法学会第34回つくば大会、大会企画1シンポジウムオープンダイアログ臨床編、つくば国際会議場、2017年8月18日
- ・長沼葉月「未来の時間はどう語られているか－アンティシペーション・ダイアログと解決志向アプローチのミラクルクエスチョン/タイムマシクエスチョン」日本家族研究・家族療法学会第34回つくば大会、つくば国際会議場、2017年8月19日
- ・長沼葉月「精神障がいのある親と暮らす学齢期の子どもの生活実態－養護教諭を対象とする質問紙調査の結果から－」日本社会福祉学会第65回秋季大会、首都大学東京、2017年10月22日
- ・副田あけみ・長沼葉月・松本葉子「AAA多機関ケースカンファレンス・シートの開発－有用性検証の中間報告－」日本社会福祉学会第65回秋季大会、首都大学東京、2017年10月22日
- ・植村太郎・長沼葉月「ナラティブアプローチ超入門(仮題)」第6回ナラティブコロキウム、駒澤大学、2018年3月10日
- ・白木孝二・長沼葉月・植村太郎「未来語りのダイアログと、私たちそれぞれのウォリー」

Taking up one's worries as an invitation to dialogues.」第6回ナラティブコロキウム、駒澤大学、2018年3月11日

- ・ Takashi, Horie “From Anti-nukes to Anti-Abe: State of Japanese Social Movements in Post-Fukushima Japan”, The Biennial Conference of the Japanese Studies Association of Australia, June 29th, Wollongong, Australia.
- ・ 堀江孝司「安倍政権の女性政策—保守政権の女性政策に見る「経済」の論理と「家族」の論理—」中部政治学会、7月22日、名古屋大学
- ・ 室田信一「福祉社会学とソーシャルワーク研究」福祉社会学会第15回大会、日本社会事業大学、2017年5月28日
- ・ 室田信一「質的心理学は『越境する知』たりえるか—社会福祉学研究者の立場から」日本質的心理学会第14回大会、首都大学東京、2017年9月10日
- ・ 和気純子・間嶋健 「介護保険施設の相談員が抱える倫理的課題とジレンマ (1) —自式質問紙調査からみる現状と要因—」日本ソーシャルワーク学会第34回大会、北星学園大学、札幌、2017年7月
- ・ 間嶋健・和気純子「介護保険施設の相談員が抱える倫理的課題とジレンマ (2) —相談員を対象としたアンケートの自由記述分析を通して—」日本ソーシャルワーク学会第34回大会、北星学園大学、札幌、2017年7月
- ・ Wake, J. & Majima, K. Ethical Dilemmas of Social Workers in Nursing Homes Operated under the Long-term Care Insurance Scheme in Japan. The 24th Joint Asia-Pacific Social Work Conference. Shenzhen, China, 2017.10.

#### 4. その他

- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：子どもの食の格差」毎日新聞、(2017年4月5日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：ダブル・ケアの負担」毎日新聞、(2017年5月10日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：変容する家族の形」毎日新聞、(2017年6月14日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：子どもの貧困率減少」毎日新聞、(2017年7月19日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：生活保護基準と格差」毎日新聞、(2017年8月23日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：高齢女性の貧困率」毎日新聞、(2017年9月27日朝刊)
- ・ 阿部彩「くらしの明日【私の社会保障論】：子どもの貧困対策」毎日新聞、(2017年11月1日朝刊)
- ・ 阿部彩「子どもの貧困問題と政策」山梨県教育委員会、2017年4月26日、山梨市
- ・ 阿部彩「子どもの貧困問題と政策」東京都信用金庫協会「第418回常勤役員情報連絡会」、2017年5月10日、KKRホテル東京。
- ・ 阿部彩「子どもの貧困をどう捉えるか」連続セミナー2017年の論点、京都大学人文科学研究所・自由と平和のための京大有志の会、2017年5月

- ・阿部彩「子どもの貧困」人事院平成 29 年度初任行政研修、2017 年 5 月 29 日 6 月 1 日
  - ・阿部彩「福祉財政について(日本の貧困の動向と子どもの貧困の現状)」平成福祉財政経済研究会(小  
渕議員レク)、2017 年 5 月 30 日、衆議院会館
  - ・阿部彩「子どもの貧困問題と政策」武田アソシエイツ「無料塾」、2017 年 6 月 1 日、春光会館。
  - ・阿部彩「子供の貧困対策」日野市職員研修、2017 年 6 月 17 日、日野市
  - ・阿部彩「子供の貧困対策」大田区職員研修、2017 年 7 月 7 日
  - ・阿部彩「子供の貧困対策」東京都市区町村職員研修、2017 年 7 月 14 日、中野区ゼロシティ。
  - ・阿部彩「子供の貧困対策」松戸市職員研修、2017 年 7 月 19 日
  - ・阿部彩「子供の貧困対策」大和市職員研修、2017 年 7 月 26 日
- 
- ・岡部卓「生活福祉資金貸付制度の意義と役割」生活福祉資金新任職員研修会、東京都社会福祉協  
議会 2017 年 4 月
  - ・岡部卓「専門研修：生活保護ケースワーカー 生活保護制度」東京都特別区研修所 2017 年 7 月
  - ・岡部卓「生活困窮者自立支援制度の取り組みの振り返りと、法改正を見据えた今後の動向について」  
東京都特別区生活困窮者自立支援制度 4 ブロック研修会 2017 年 9 月
  - ・岡部卓「社会的孤立を生み出さないためにできること～生活困窮者自立支援制度を通して～」横  
浜市西区役所 2017 年 10 月
  - ・岡部卓「生活困窮者自立支援制度の課題と今後の展望」日本労働組合総連合会 労働者福祉中央  
協議会 電通会館 2017 年 11 月
  - ・岡部卓「(シンポジウム：地域で支えよう！～生活困窮者支援の課題～) 日本労働組合総連合会  
労働者福祉中央協議会 電通会館 2017 年 11 月
  - ・岡部卓「総合相談を行うために必要な視点」市町村社会福祉協議会相談力向上研修 埼玉県社会  
福祉協議会 彩の国すこやかプラザ 2017 年 12 月
  - ・岡部卓「生活福祉資金の特性と社協・自立相談支援機関の役割について」北海道社会福祉協議会  
平成 29 年度生活福祉資金貸付事業研修会 北海道自治労会館 2018 年 1 月
  - ・岡部卓「第 13 回権利擁護・虐待防止セミナー：(シンポジウム) 包括的な権利擁護と生活支援の  
取組に資する連携・協働に向けて」(コーディネーター) 全国社会福祉協議会：灘尾ホール  
2018 年 2 月
  - ・岡部卓「生活困窮者自立支援制度と生活保護制度の見直しの現状と課題」日本労働組合総連合会  
第 1 回地方労働者福祉中央協議会 東京グランドホテル 2018 年 3 月
  - ・岡部卓「生活困窮者自立支援法」東京都市部第 3 ブロック研修会 東京都清瀬市コミュニティーブ  
ラザ 2018 年 3 月
- 
- ・長沼葉月「面接技法～複雑化するケースへの介入方法について～」静岡県地域包括・在宅介護支  
援センター協議会主催地域包括支援センター職員研修、静岡県教育会館、2017 年 10 月 20 日
  - ・長沼葉月「信頼関係のつくり方と面接技法」横浜市生活支援課外部講師研修会(戸塚・泉・栄プロ  
ク)、横浜市栄区役所、2017 年 12 月 6 日
  - ・長沼葉月「高齢者虐待への対応についてー連携に焦点を当てて」横浜市泉区ケアマネジャー対象  
高齢者虐待防止研修会、横浜市泉区役所、2018 年 1 月 12 日
  - ・長沼葉月「ケースカンファレンスのファシリテーション」、相模原市中央高齢者相談課職場研修、

相模原市けやき会館職員研修所、2018年1月15日

- ・長沼葉月「子どもの貧困について考える」、さいたま市PTA協議会緑区連合会会長・校長合同研修会、2018年2月6日
- ・長沼葉月「基本の姿勢と関係づくりの話し合い」藤沢市平成29年度高齢者虐待対応研修会、藤沢市役所、2018年3月26日
- ・長沼葉月「解決志向アプローチ／オープンダイアログ」（デモンストレーター）、一般社団法人CBTを学ぶ会主催第1回心理療法の森 ブリーフセラピー研修会 in 滋賀～短期療法のデモンストレーション～、2018年3月3日－4日、ピアザ淡海
  
- ・堀江孝司「安倍政権の女性政策——「経済」の論理と「家族」の論理の折り合い——」複眼的に安民法制を考える名市大院生有志の会学習会 名古屋YWCAビル、2017年9月3日
- ・堀江孝司「安倍政権下での改憲の動きと対抗する運動」首都大学東京学生9条の会学習会、首都大学東京南大沢キャンパス、2018年2月14日
- ・堀江孝司「1968年をめぐる論点」（討論）、立教大学グローバル都市研究所公開講演会「グローバル・アーバン・ヒストリーとしての1968年」、2018年2月27日、立教大学池袋キャンパス太刀川記念館
  
- ・矢嶋里絵「小川先生の思い出」日本社会福祉学会学会ニュース No.75、2017年6月
- ・矢嶋里絵「社会福祉の基礎知識Ⅰ」要約筆記者養成講座、川崎市聴覚障害者情報文化センター、2017年9月1日
  
- ・和気純子「地域援助技術」八王子市介護支援専門員研修、八王子市役所、2017年7月
- ・和気純子「大学を拠点とする多世代交流の街づくり～市民参加による地域包括ケアシステムの構築」市民塾講演、首都大学東京、2017年12月
- ・和気純子「グローバルなソーシャルワーク実践講座 Vol.1」日本ソーシャルワーク教育学校連盟、2018年3月18日（モデレーター）
- ・和気純子「地域づくり」八王子市地域包括支援センター職員研修、八王子市役所、2018年3月27日

平成 30 年 3 月発行

「人文学報」 第 514-3 号

非売品

東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番地

編集・発行者 首都大学東京 人文科学研究科  
人文学報編集委員会

代表者 平井 博

---

株式会社 相模プリント  
神奈川県相模原市緑区東橋本 1-14-17

THE JOURNAL OF  
SOCIAL SCIENCE AND HUMANITIES  
(*JIMBUN GAKUHO*)

EDITED BY

The Graduate School of Humanities  
Tokyo Metropolitan University  
*1-1 Minamioosawa, Hachioji-shi, Tokyo*

---

No.514-3

March 2018

---

**SOCIAL WELFARE 34**  
**CONTENTS**

Articles

Social Welfare and Personal Information  
.....Taku Okabe

Disability Identity and “Acceptance of Disability”:  
a Perspective of Disability Studies and Social Work  
.....Akihiro Sugino

Research Papers

Current Status and Challenges in Public Loan Programs  
.....Taku Okabe

Notes

Notes in Remembrance of the Bus Crash in Karuizawa  
.....Department of Social Welfare